

大阪府立芥川高等学校 令和6年度第3回学校運営協議会 議事録

校名	府立芥川高等学校
(准)校長名	富山 一紀

開催日時	令和7年2月19日(水) 15時30分～17時
開催場所	府立芥川高等学校 校長室
出席者(委員)	吉田副会長(会長代行)、平井委員、濱崎委員、伊藤委員
出席者(学校)	校長 富山、教頭 出口、事務長 川谷、首席 渡邊、首席 前田、進路指導主事 片山、書記 梅本、中尾
協議資料	令和6年度第3回学校運営協議会次第、学校新聞芥川第315号、令和6年度学校経営計画および学校評価(案)、43期生入試結果(2/12段階)、令和6年度生徒による授業アンケートについて(報告)、令和6年度授業アンケート結果概要、令和6年度学校教育自己診断集計報告、令和6年度学校教育自己診断結果概要、令和6年度学校教育自己診断について検討結果、令和7年度学校経営計画及び学校評価(案)
備考	

議題等(次第順)

- 第2回学校運営協議会以降の学校の様子
- 令和6年度学校経営計画にもとづく取組の学校による自己評価
- 本校生の進路状況等
- 令和6年度授業アンケート報告
- 令和6年度学校教育自己診断報告
- 令和7年度学校経営計画案について
- 保護者からの意見書について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 学校の様子と学校経営計画および学校評価についての意見・質疑
 - ・生徒からの評価が高かったので、それだけ学校の取り組みが優れているということだ、という意見があった。
 - ・生徒たちは認められたときに、他のことにも効果がある。学校新聞で生徒のことをかわいいと思っている学年主任の声は、生徒にとって幸せなことだという意見があった。
 - ・学校で真面目に取り組むことだけでなく、楽しめるか、ということも学校生活の充実にとっては重要で、学校を楽しめているからこそ、生徒からの肯定的な評価が高いのだろう、という意見があった。
 - ・他のところで報告を聞くと、右肩下がりの評価であることを聞くが、芥川高校が高い評価であるのは、丁寧な取り組みをしている結果だという意見があった。
 - ・気軽に相談できる先生が多いということも、先生方の取り組みが生徒から評価される要因だ、という意見があった。
 - ・働き方改革の数字には家での作業は数字に加算されているのか、という質問があった。→加算されていない、と回答。
 - ・生成AIによって何か業務改善があったか、という質問があった。→これからの回答した。
 - ・生成AIの利用について生徒への指導はあるのか、という質問があった。→これからの課題になってくる、と回答した。
 - 使うな、ではなく、使いましょ、から指導をしていく方がいいという意見があった。
- 本校生の進路状況等
 - ・意見や質問は特になかった。
- 令和6年度授業アンケート報告
 - ・意見や質問は特になかった。
- 令和6年度学校教育自己診断報告
 - ・記述項目はあるのかという質問があった。
 - 意見がある場合は教員に情報提供していると回答した。
 - 食堂に関する記述が多く、それを受けて次年度からの業者募集を行うことを決めたと回答した。
 - 生徒指導に関して厳しさを求める内容と柔軟さを求める内容があったと回答した。
- 令和7年度学校経営計画案について
 - ・意見や質問は特になかった。
- 保護者からの意見書について
 - ・意見や質問は特になかった。

次回の会議日程

日時	令和7年6月中旬を予定
会場	府立芥川高等学校 1階 校長室